

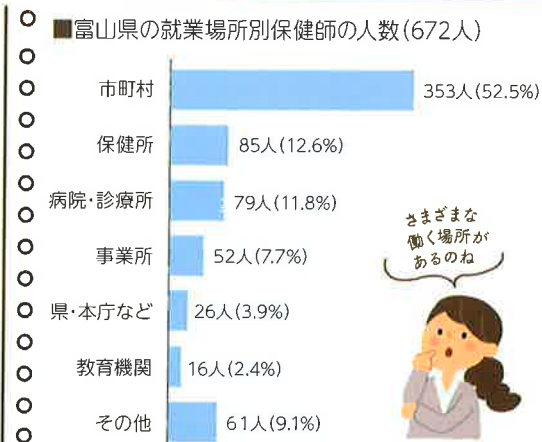
## Q.1 保健師ってどんな仕事？

A. 保健師は、赤ちゃんから高齢者の方まですべての人々のことと身体の健康を守ること、病気や障害があっても、地域で生活し続けられるようサポートすることが仕事です。



## Q.2 どんな場所で働くの？

A. 市町村や県・市の保健所・本庁に勤務する行政保健師が約70%です。その他にも、病院の健診センターや地域医療連携室、事業所(会社)の健康相談室、教育機関、健診機関などがあります。

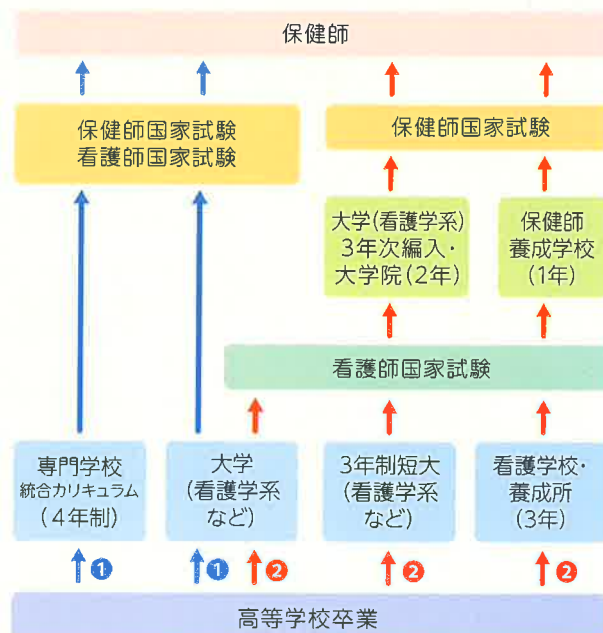


資料：令和2年衛生行政報告例

## Q.3 保健師になるには？

A. 保健師国家試験に合格して「保健師」の資格を取得します。方法は主に2つあります。

- 1 保健師と看護師について同時に学び資格を取得する。
- 2 看護師の資格を取得してから保健師について学び資格を取得する。



お問合せ

公益社団法人  
富山県看護協会

〒930-0885 富山県富山市鶴島字川原1907-1  
TEL:076-433-5680 FAX:076-433-6428  
URL: <https://www.toyama-kango.or.jp/>

保健師職能委員会 令和4年5月作成

# こんにちは！ 保健師です！



公益社団法人 富山県看護協会



# 地域で、病院で、学校で… 保健師はこんな場所で活動しています

赤ちゃんから高齢者までの健康を見守り、サポートしていくお仕事です。

## 保健所（厚生センター）

保健所は、都道府県・中核市等が設置する行政機関です。

保健師は、難病や結核等の感染症で療養する方や精神障害者の方への相談・支援を行うほか、市町村と連携して地域のケアシステムの構築に向けた取り組みなど、広域的で専門性の高い業務を行っています。

感染症対策



新型コロナウイルスなどの感染症患者の届出があった際に、感染を拡げないための調査や健康観察などを行っています。

災害対策



災害が起こったとき、被災地で被災者の心身のケアや避難所の衛生管理などを行っています。

## 市町村（保健センター・地域包括支援センター等）

保健センター等は、市町村が設置する行政機関です。

保健師は、乳幼児や妊婦、成人、高齢者、障害者を含め、幅広い年代の地域住民を対象とし、保健や福祉の相談、健康づくり・地域づくりを担い、住民に身近で地域に根差した存在です。

家庭訪問



乳幼児のご家庭を訪問し、お子さんの成長の確認や子育ての情報提供を行っています。

思春期保健



学校等へ出向き、思春期の子どもたちを対象に健康に関するお話をしています。

通いの場



高齢者の健康づくりを目的に、体操等を普及しています。



乳幼児健診



お子さんの発育・発達の確認や、育児相談を行っています。

パパママ教室



家族で協力して子育てができるよう、妊娠・出産・育児についての情報提供を行います。

がん検診



地域住民を対象にがん検診を行っています。住民の方が安心して検診を受けることができるよう配慮しています。



## 医療機関

地域医療連携室や健診センター等に所属して、患者さん・ご家族の相談を受けるほか、患者さんの支援方針の院内外の関係機関との検討・調整、健診後の保健指導・健康教育を行っています。

ケア会議



患者さんが退院後も安心して生活を送ることができるように多職種と意見交換をして支援します。

保健指導



健診センターでは、健診を受けられた方が健康を保持できるように保健指導を行います。

## 事業所・健診機関

事業所等の保健師は産業保健師と呼ばれています。

産業保健師は、事業所で働く労働者の健康管理・健康増進に向けた仕事をしています。近年はうつ病等のメンタルヘルスへの関わりが重要となっています。

保健指導



対象者の健康保持増進のため、生活習慣改善のアドバイスを行っています。

職場巡視



労働者の作業環境を把握し、安全かつ安心できる職場環境づくりに努めています。

研修会



従業員を対象に、健康管理やメンタルヘルスなどの研修を開催しています。